訴　　　　状

平成○年○月○日

○○地方裁判所民事部　御中

　　　　原告訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎　印

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○○番○号

　　　　原　　　　　　　　告　　　甲　　　山　　　一　　　郎

〒○○○－○○○○　東京都○○区××○丁目○番○号□□ビル○階

　　　　　　　　　　　　甲野法律事務所（送達場所）

　　　上記訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎

　　　　　　　　　　　　　電　話　０３－○○○○－○○○○

　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　０３－○○○○－○○○○

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○番○－○○○号

　　　　　　　　被　　　　　　　　告　　　乙　　株　　式　　会　　社

上記代表者代表取締役　　　乙　　　川　　　次　　　郎

割増賃金請求事件

　訴訟物の価額　　　○○万円

　貼用印紙額　　　　　○万円

第１　請求の趣旨

１　被告は，原告に対し，○○円及びうち××円に対する平成△年△月△日から支払済みまで年１４．６％の割合による金員を支払え。

２　被告は，原告に対し，□□円及びこれに対する本判決確定の日の翌日から支払済みまで年５％の割合による金員を支払え。

３　訴訟費用は被告の負担とする。

４　第１項につき仮執行宣言

第２　請求の原因

１　当事者

被告は○○等を目的とする会社であり，原告は平成○年○月○日から同○年○月○日まで被告会社に勤務していた者である。

２　雇用契約の締結と内容

原告は被告会社との間で，要旨下記の条件で雇用契約を締結していた（甲１・甲２）。

ア　契約締結日

イ　期間の定め

ウ　業務内容

エ　基本給

オ　諸手当

カ　締め日

キ　支払日

ク　所定労働時間

ケ　始業時刻

コ　休憩時間

サ　終業時刻

シ　所定休日

３　労働基準法施行規則１９条４号による計算方法の基礎となる事実，積算方法

(1)　月額賃金（基本給，諸手当）

(2)　１日の所定労働時間，所定休日　これによる１月平均の所定労働時間

(3)　割増賃金計算の基礎となる賃金

４　労務提供の事実（甲３）

ア　所定時間外労働時間

イ　休日労働時間

ウ　深夜労働時間

５　割増賃金の計算結果

甲第４号証のとおり，退職までの未払割増賃金額合計は○○円であり，これら各支払日の翌日から退職日までの遅延損害金額（年６％）は合計○○円に達している。

６　よって，原告は，被告に対し，○○円及びうち未払割増賃金××円に対する平成△年△月△日から支払済みまで年１４．６％の割合による遅延損害金の支払を求めるとともに，付加金□□円及びこれに対する本判決確定の日の翌日から支払済みまで年５％の割合による遅延損害金の支払を求める。

以上

１　甲１号証　雇用契約書

２　甲２号証　就業規則

３　甲３号証　タイムカード

４　甲４号証　割増賃金一覧表

１　訴状副本　　　　　　　　　　　　　１通

２　甲１ないし４号証（写し）　　　　各２通

３　証拠説明書　　　　　　　　　　　　２通

４　履歴事項全部証明書　　　　　　　　１通

５　訴訟委任状　　　　　　　　　　　　１通